

# 上の川遊歩道延伸検討業務 特記仕様書

## 1 業務目的

上の川周辺整備事業は、阪急千里線豊津駅から垂水上池公園までの約 300m 区間を対象として、上の川の暗渠化により創出される上部空間を遊歩道として整備し、宅地側の歩道も併せて整備することで、府道吹田箕面線の歩行空間の確保等の安全対策を実施している。本事業は現在、河川を暗渠化する基盤整備工事を進めており、令和 6 年度の完成を目指している。

本業務は、道路交通上の安全確保等の地域の課題解決をさらに進めていくため、垂水上池公園付近の蓮華寺橋から上流の花壇踏切道までの約 350m 区間を対象に、遊歩道延伸や交差点改良等の安全対策を検討するものである。

## 2 留意事項

本業務の遂行にあたっては、事業中区間の過年度成果(予備設計、詳細設計等)を十分に把握した上で、多角的な視点で検討すること。また、関係機関との円滑な協議が重要となるため、検討の熟度を高めるとともに、分かりやすい資料作成に努めること。

## 3 業務内容

### 3.1 河川予備設計(箱型函渠予備設計)

#### (1)設計計画

業務の目的・主旨を把握したうえで、設計図書に示す業務内容を確認して業務計画書を作成し、提出する

#### (2)現地踏査

ア 現地踏査にて現況施設の状況、河川の状況、地形、地質、近接構造物及び土地利用状況・河川の利用形態、道路占用物・地下埋設物等を把握し、併せて施工重機配置、仮排水路、施工ヤード等の施工の観点から現地状況を把握し、整理する。

イ 構造物主要寸法等の確認も行い、必要に応じて簡易測量・計測等を実施する。

ウ 架空線等上空施設についても確認を行い、必要に応じて平面図に反映する。

#### (3)設計条件の整理

ア 河川の暗渠化の検討にあたり、下流区間における河川構造としての暗渠構造の設計条件や設定根拠等を整理するとともに、暗渠区間の延長によって生じる治水上のリスクを検討し、与条件の整理を行う。

イ 河川の暗渠化は、張り出し構造や函渠構造等の暗渠構造を抽出し、遊歩道等の道路横断構成及び下流区間の採用構造を踏まえて、暗渠構造を選定する。

ウ 暗渠化による河川管理上の課題を整理し、内空の維持管理に必要な点検孔等の河川管理の対応方法を検討する。

#### (4)河川箱型函渠の平面縦断計画

ア 並走する府道及び阪急電鉄への影響に配慮するとともに、上下流の河床高を踏まえて、平面線形及び

縦断形を検討する。縦断計画にあたっては、現況河道内に落差工が複数あることに留意する。

- イ 対象区間上流端である花壇踏切道は現在、函渠構造による橋梁拡幅工事を実施している。桁下余裕高に留意した縦断形及び落差処理の対策等を検討する。

#### (5)横断計画

- ア 計画高水流量等の流量条件や水理検討条件を整理した上で、水理計算手法を選定し、暗渠化横断形（断面形）を設定する。
- イ 設定の際、土被りの確保や現道と阪急電鉄軌道敷との高低差に留意するとともに、後段で検討する施工方法も加味した上で、最適な暗渠化断面を検討し、高低差の処理方法を検討する。

#### (6)施工方法の検討

- ア 下流区間の河川暗渠化の施工方法は、オープンシールド工法を採用しており、蓮華寺橋下流付近にシールド機を残置する計画である。下流区間の施工方法を踏まえて、オープンシールド機の再利用による再発進等の延伸区間の施工方法を検討する。
- イ 蓮華寺橋下流付近には、NTT管路が河川を横断しており、オープンシールドによる掘進の支障となることから、NTT管路の移設に係る協議資料等の作成を行う。また、NTT 管路の移設によるオープンシールド掘進と NTT 管路を移設しない別の方法についても比較検討する。
- ウ オープンシールド掘削または別の施工方法に伴う阪急電鉄への影響の概略検討を行う。
- エ 右岸側に建てられた電柱の移設（府道の右側若しくは左側等）について検討する。
- オ 施工中の一時的な出水への対応を検討するほか、出水期などの工事休止期間における出水への対応についても検討する。

※業務については、以下のとおり積算している

設計計画、設計条件の確認、比較形式選定、概略設計計算、基礎工検討、概略設計図、関係機関との協議資料の作成、概算工事費算出、比較一覧表作成、照査、報告書作成

【主任技師 3.0 人 技師 A 4.5 人 技師 B 9.5 人 技師 C 14.5 人 技術員 11.0 人】

### 3.2 遊歩道概略設計（道路概略設計）

#### (1)歩道概略設計

- ア 既存測量成果等に基づき、平面縦断線形を検討し、道路横断構成等の横断計画の検討を行う。
- イ 検討にあたっては、遊歩道の連続性やネットワークに配慮する。交差点は府道も併せて検討するが、標準部は遊歩道整備だけのパターンと府道改良も併せて行うパターンを検討する。

#### (2)交差点改良検討

- ア 大学踏切道の交差点（三叉路）における道路交通の課題解決に向けて、歩行者の安全確保及び渋滞緩和等の交通環境の改善を図ることを目的に、交差点の改良検討を行う。ただし、踏切を拡幅する具体的な検討は本業務の対象外とする。
- イ 花壇踏切道の交差点は、交通環境改善等の交差点改良の必要性を検討する。

※業務については、以下のとおり積算している

設計計画、現地踏査、縦断設計、横断設計、交差点容量・路面表示、概算工事費算出、照査、報告書作成

【主任技師 2.0 人 技師 A 3.0 人 技師 B 4.5 人 技師 C 4.0 人 技術員 3.5 人】

### 3.3 河川暗渠化区間の修正設計(接続部詳細設計)

- ア 下流区間で採用しているオープンシールド機を再利用して再発進する施工方法の適用を前提として、再発進するまでの現況河道との摺り付け構造や仮設工法等の暫定処理方法を設計する。
- イ 検討にあたっては、現況河道との落差が生じるため、落差処理に配慮する。
- ウ 暫定処理方法の施工方法及び施工手順等の施工計画の設計を行う。
- エ 暫定処理の施工に必要な設計図、数量計算書を作成する。

※業務については、以下のとおり積算している

設計計画、設計条件の確認、設計計算、設計図、数量計算、照査、報告書作成

【主任技師 1.5 人 技師 A 4.0 人 技師 B 7.8 人 技師 C 12.3 人 技術員 11.0 人】

### 3.4 関係機関協議資料作成

本業務を円滑に進めるにあたり下記の管理者との協議が必要となるため、協議資料の作成を行う。

河川・道路管理者・・・大阪府茨木土木事務所

地下埋設物管理者・・・NTT、関電、ガス、水道、下水等

鉄道管理者・・・・・・阪急電鉄

## 4 成果品

成果品は 2 部提出することとし、あわせて電子データを提出すること。なお、図面データは Autocad 及び PDF 両方の形式で納品すること。

詳細については、調査職員と協議のうえ決定するものとする。

## 5 貸与資料

本業務を遂行するにあたり、下記の既存成果を貸与する。

H30 一級河川上の川予備設計委託成果

R1 一級河川上の川詳細設計委託成果

計画高水流量等の流下能力検討条件

測量成果・・・上の川中心線平面図、縦断図、横断図